



熊本城(震災前)

Kumamoto City

熊本市

熊本市

熊本県

平成28年の熊本地震により熊本市は大きな被害を受けました。熊本城も地震で大きな打撃を受けましたが、現在は本格的な修復に向けて工事が始まっています。地震で傷ついてはいますが、まちや人は元気です。美味しい食べ物や歴史的な建物、重要な史跡もあります。復興へと進んでいる熊本市に、ぜひお越しください。

寄稿：熊本市 経済観光局 観光交流部 観光政策課

新しく生きよう。

NEO ONE
KUMAMOTO

日本三名城に 謳われる熊本城

熊本市中心部にそびえる熊本城は、築城の名手といわれた加藤清正公が、約400年前に7年の歳月をかけて築城しました。

加藤家2代、細川家11代の居城として続きましたが、明治10年の西南戦争では、薩軍を抑えて約50日の籠城に耐え、難攻不落の名城の真価を発揮しました。しかし、薩軍総攻撃の3日前、原因不明の出火により、主要な建物を消失しました。現在の天守閣は昭和35年に再建されています。

熊本城の代名詞といわれる石垣は、通称「武者返し」と呼ばれています。下りはゆるやかで、簡単に登れるように見えますが、上に向かえば向かうほど反り返りが激しくなり、登ることができません。武士が引き返してしまふことから「武者返し」と呼ばれています。

築城主加藤清正は、治山治水工事や、水田の開発などにも尽力し領民から厚い信頼を得ており、「清正公(せいしよーさん)」と今でも熊本市民から親しみをもって呼ばれています。

加藤家改易後肥後に入国した細川忠利公は、文武に優れた才能を持っており、宮本武蔵が晩年を熊本で過ごしたのは、忠利公が招いたからです。





熊本城・宇土櫓(震災前)

熊本地震の被害を受け 復旧工事が進む熊本城

平成28年の地震では、熊本城の天守閣や石垣、城内のさまざまな建築物が大きな被害を受けました。このような状況のなかでも、西南戦争の戦火を逃れ築城以来現存している宇土櫓は、今回の地震でも大きな被害を逃れました。築城の名手である加藤清正公の築城技術が優れていることを実証したといえるでしょう。

現在熊本城では、本格的な修復に向けて工事が始まっています。2019年には天守閣の復旧が予定されていますが、石垣など城全体の復旧はおよそ20年かかると見込まれています。天守閣は、現在復旧工事のための仮設足場を設置し、その周囲を資材の飛散や作業員の転落を防止するための工事用シートで覆っています。シートについては、復旧工事中も天守閣をご覧いただけるよう透過性のあるシートを採用しました。天守閣の横には巨大クレーンが設置され、

復旧工事が進められています。

飯田丸五階櫓は、熊本地震により櫓下の石垣が崩落しましたが、隅石によりかろうじて櫓を支え、倒壊を免れている状態が続く【奇跡の一本石垣】と呼ばれ熊本城の被災の象徴となりました。

現在熊本城の本丸エリアは、立ち入りできませんが、二の丸広場や加藤神社、その周辺から天守閣や櫓等がご覧いただけます。復旧工事中の熊本城ですが、雄大で圧倒的な存在感を放っています。



1. 崩壊した石垣は復元のために管理 2. 復旧が進む熊本城・天守閣 3. 震災後の頼当御門周辺 4. 飯田丸五階櫓の仮受構台

復旧に向けて歩みだした熊本城

熊本城・天守閣工事の様子

熊本城周辺でアート鑑賞

熊本城を望む絶好のロケーションである二の丸広場には、「熊本県立美術館」があります。

日本を代表する建築家の一人で、国立西洋美術館を設計したル・コルビュジェに師事した前川國男氏によって設計された美術館です。細川コレクションや今西コレクションなど国内でも有数のコレクションを楽しむことができます。

熊本城周辺の千葉城町には、「熊本県立美術館分館」や「熊本県伝統工芸館」があります。「熊本県伝統工芸館」では、暮らしに密着し、古くから使用されてきた熊本県の伝統工芸品を展示販売しています。

熊本城近く、上通りの複合ビルには「熊本市現代美術館」があり、草間彌生やジェームズ・タレルなどによる現代アート作品の常設展示や美術図書から漫画まで閲覧できるホームギャラリーを無料で利用できるほか、魅力的な展覧会を開催しており、気軽に現代アートに親しむことができます場所になっています。



1. 熊本県立美術館分館
2. 熊本県伝統工芸館
3. 熊本県立美術館本館
4. 熊本市現代美術館







路面電車「COCORO」

路面電車でぶらり 熊本市内を観光

熊本市内の観光には、市電が便利です。

大正時代から市民の足として親しまれている路面電車です。車両は古いものから最新式まであり、さまざまなデザインラッピング電車をみているだけでも楽しめます。なかでも「ななつ星 in 九州」のデザイナー水戸岡鋭治氏のデザインによる新型超低床電車「COCORO」が人気です。

まちをゆっくり走る市電に揺られ、お気に入りの車窓を見つけてみてください。ぶらり途中下車をしながらの町歩きや、沿線グルメも楽しめます。

市電「水前寺公園」で下車すると、水前寺成趣園を散策できます。細川忠利から3代にわたって作られた桃山式の回遊庭園で、阿蘇の伏流水からの湧水にも恵まれており、四季を通じて美しい眺めを楽しむことができます。

園内にある古今伝授の間は、かつて京都御所に建っていた建築物を移築した茅葺屋根の建物です。古今伝授の間から眺める庭園も美しいです。



水前寺成趣園



路面電車「COCORO(内部)」



1

昔の風情が残る 新町・古町界限

新町・古町界限は、清正公が作った城下町です。新町は短冊形の町割、古町地区は、碁盤目状に整備された一町一寺の町割になっています。町を散策すると、江戸・明治・大正の建造物を見つけることができます。昔ながらの町屋を利用したお店や、レストラン、美味しい食べ処や伝統工芸のお店がたくさんあります。

伝統的な職・食文化を実際に体験できるメニューも豊富です。

観光施設「城彩苑」に くまモン登場！

熊本城の近くにある観光施設桜の馬場城彩苑の「桜の小路」は熊本県内各地の食やお土産がそろった飲食施設です。県下選りすぐりのグルメが集まっています。

今年の夏、城彩苑「湧々座」2階ものがたり御殿には、くまモンが登場します！くまモンと熊本城の妖精ひごまる、熊本城おもてなし武将隊の共演をお楽しみください。



4



3



2

＼ 待ってるモン！ /



くまモン&ひごまる

1. 旧第一銀行 2. 古町界隈 3. 城彩苑
「桜の小路」 4. 城彩苑「湧々座」1階
5. 城彩苑「湧々座」2階ものがたり御殿
6. 城彩苑の全景

最後に

平成28年熊本地震では、九州の皆さまから多大なるご支援、ご声援をいただき深く感謝申し上げます。
現在、地震から復興中ですが、まちや人は元気です。是非、熊本市にお越しください。



6



5